



2020年3月16日

各位

会社名 株式会社ビットワングループ  
 代表者名 代表取締役社長 木村 淳一  
 (コード番号 2338 東証第二部)  
 問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経  
 T E L 03 (6910) 0571 (代表)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月16日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年10月10日の2020年2月期第2四半期決算発表時に開示した2020年2月期(2019年3月1日~2020年2月29日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 1. 当期の連結業績予想値の修正 (2019年3月1日~2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	659	△242	△248	△249	△30.96
今回修正予想(B)	457	△294	△304	△314	△35.17
増減額(B-A)	△202	△52	△56	△65	
増減率(%)	△30.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	618	△480	△510	△1,111	△155.75

### 2. 修正の理由

売上高に関して、アイラッシュケア事業においては、商材の販売について、香港で起こっていたデモの影響により、大口の中国・香港向けの需要が落ち込んでおり、当初予定していた売上を達成することができず、約37百万円の売上減となる見込みです。サロン店舗における売上に関しては、新たに補充した社員の研修も終了し、当期下期より減少傾向にあったサロン店舗の稼働率が改善してはいましたが、減少以前の水準までは至っておりません。更に、1月下旬以降、新型コロナウイルスの流行等の影響により、来店者数が減少し、予定していた稼働率を達成することができない見込みとなり、約36百万円の売上減となる見込みです。

フィンテック事業では、当期下期(2019年9月1日~2020年2月28日)に予定していたブロックチェーンに関するシステム開発の受注が延期となり、売上約52百万円が見込めなくなりました。また、仮想通貨交換所における新サービス(レバレッジ取引等)の導入を検討してはいましたが、海外大手仮想通貨交換所がデリバティブ取引を順次発表し、競争が激化したことから、費用対効果を鑑みたところ、当社グループにおける仮想通貨交換所では、サービスを断念いたしましたため、新サービスにかかる売

上高約 15 百万円を見込むことができなくなりました。

システムソリューション事業においては、当期下期において予定していたマッチングサイトの運営事業について、当社単独ではなく他社と業務提携を行うことを前提としておりましたが、提携予定先との交渉が難航し、開始を断念したことから、当該事業で予定していた売上高等約 58 百万円を見込むことができなくなりました。

利益に関しては、主に上記の売上減に対応して減少する売上総利益分の減少を見込んで修正したものです。

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。